

おいらせ町総合教育会議 議事録

開催年月日	令和8年1月29日（木）			
開催場所	庁議室			
開 会	午前10時～		閉会	午前11時6分
出席者	職名	氏名	職名	氏名
	町 長	成 田 隆	副町長	小 向 仁 生
	教 育 長	松 林 義 一	教育長職務代理者	吉 田 満
	教 育 委 員	三 村 伸 子	教 育 委 員	高 山 久 光
	教 育 委 員	大 木 元 英		
事務局 関係課	（総務課）			
	主 幹	兼 田 敦 史		
	（関係課）			
	政 策 推 進 課 長	田 中 貴 重	財 政 管 財 課 長	田 中 淳 也
	（学務課）			
	課 長	福 田 輝 雄	指導室室長	佐 藤 豊
	課長補佐	石 塚 善 太		
	（社会教育・体育課）			
	課 長	三 村 俊 介	課長補佐	川 口 邦 彦
	課長補佐	木 村 誠		

次 第	1 開 会 2 町 長 あ い さ つ 3 議 事 等 1)「おいらせ町教育大綱」に基づく施策の実施状況について 2)（仮称）学校における働き方改革プラン（業務量管理・健康確保措置実施計画）について 4 意 見 交 換 5 閉 会
-----	---

会 議 記 録	
発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	開 会 修 礼 はじめに町長からご挨拶申し上げる。
町 長	まず教育長は、日頃から、学校のため先生方のために尽力いただいている。 本会議では自分が主催者となっているが、教育委員の皆様と同じ立場でおいらせ町をより良い町にしていくために話し合っていきたい。委員の皆様からは、忌憚のない意見をいただきたい。
事 務 局	議事の１つ目、「おいらせ町教育大綱」に基づく施策の実施状況について、学務課より説明願う。
学 務 課 長	（資料に沿って説明）
事 務 局	施策の中で C 評価となった事業について補足いただきたい。

会 議 記 録	
学 務 課 長	13 ページ（1）の「体力づくり、運動習慣の啓発」が C 評価となっている。 この理由については、同項目に紐づいている「外遊びやスポーツが体に与える良い影響について情報発信」という取組が、広報誌のスペースの問題もあって令和 6 年度実績なしとなったため、C 評価となった。
教 育 長	説明を加える。 教育委員会では様々な場面で事業の振り返りを行っている。 例えば、社会教育委員の方や図書館協議会、公民館運営審議会等で話し合いを行っている。二重三重に話し合いを行っているということをお知らせしておく。
町 長	教育に関しては、教育長に全面的に任せている。重要事項については、情報共有している。
教 育 長	町の教育に関して、最終決定、最終責任は町長にある。町長を支える課長の皆さんにも教育行政について共に考えていただきたい。
副 町 長	郷土芸能について、後継者問題に頭を悩ませている。中学生までは、子供たちも興味をもって関わってくれるが、それ以上になると忙しくなり、参加しなくなる。しかしながら、より多くの子供たちに郷土芸能を知ってもらふということが大切だと思うので、学校で郷土芸能を披露する場を作れないものか。
社会教育・	郷土芸能の継承ということで、教室を開催

会 議 記 録	
体 育 課 長	したり、昨年度は下田小学校で子供たちに鶏舞を披露する取組を地域学校協働活動として実施した。これからも事業を進めていきたい。
副 町 長	ぜひ他の小学校でも開催してほしい。
教 育 長	子供たちはダンスであったり新しいことにとっても関心を持っている。郷土芸能においても、子供たちが少しでも興味がわくようなリズムであったり、工夫をしていただければ、もっと子供たちが興味を示すのではないか。 もちろん、学校では地域を学ぶ取組を行っているし、郷土芸能に触れ合う機会は大切だと考えている。
副 町 長	まずは郷土芸能そのものを知るという場を作っていただきたい。
社会教育・ 体 育 課 長	引き続き検討していきたい。
事 務 局	議事の２つ目、(仮称)学校における働き方改革プラン(業務量管理・健康確保措置実施計画)について、学務課より説明をお願いします。
学 務 課 長	(資料に沿って説明)
事 務 局	ただいまの説明に対して、ご意見・ご質問があればお伺いする。
教 育 長	特になければ私から。今の内容は、法改正がなされて教職員の教職調整額が４％から１０％に引き上げられたということと、各教育委員会において教員の業務量を適切に管理するための計画策定が義務付けられたというこ

会 議 記 録	
	と。 教職員が募集人員に達していない。そのため、必要人員が確保できず、各学校で教員不足となっている。 そういったこともあり、教職員の勤務条件を改善していきましょうという動きである。 部活動に関しては、地域クラブへの移行を進めながら、顧問の負担を減らしていく。 行事については、運動会を平日開催にしたり、各種行事の統合を検討している。 このように働き方改革の環境整備はしているが、子供同士のトラブル等があれば親との面談などで帰りが遅くなるのは避けられず、簡単にはいかない状況である。
高 山 委 員	学校現場では、コロナ禍であっても短縮で行事を行ったりと、なんとか乗り切ることができた。働き方改革に関しても、そういった意識改革が重要であると感じる。 不登校の子供への対応については、現在みなくる館等で教育相談を行っているが、相談員の数が足りていないため、増員を検討していただきたい。要望になってしまったが、以上。
吉 田 委 員	おいらせ町は住みたい町ランキングでも上位であり、今後もいい町であり続けるためには、学校教育の充実が重要であると思う。 学校現場では、どうしても教員や支援員が一定数必要である。予算確保をお願いしたい。

会 議 記 録	
	1 つ目の案件に関してだが、評価 A の事業が多いように感じる。レベルを上げて評価してみてもどうか。
学 務 課 長	評価の際はアドバイザーにお願いをしているが、アドバイザーからは、例年同様の評価の方法ではなく、ちょっと視点を変えてみてはどうかという意見もいただいていたので、今後検討していきたい。
三 村 委 員	保育園のお迎えの様子をみていると、教員をされている保護者のお迎え時間が早くなってきたように感じる。 保護者のお迎えが早くなれば、私たち保育現場の働き方改革にもつながる。 また、今日の新聞に不登校の子を受け入れる「フリースクール」の記事があった。教育大綱の中にも「生きる力を育む」とあるが、不登校の生徒への対応をどのように進めていくか、気にかけているところである。
大 木 委 員	一昨年くらい前から、学校の職員室の電気が消えるのが早くなってきたと感じている。土日においても、先生方の車が減ってきていると思われ、働き方改革の効果が現れてきたように思う。 鶏舞については、子供の受入れ対象を拡大するなど、伝統芸能存続に向けた取組が行われている。 最後に要望になってしまうが、木内々小学校体育館の床のラインが消えていて、練習試

会 議 記 録	
	合の際に保護者がラインテープを貼って対応している。時間が経つとまた剥がれてくるため、ラインをひき直していただければ助かる。
学 務 課 長	木内々小学校の体育館については学校からも要望を受けており、床板自体の改修も含め、将来的に子供たちが怪我なく使えるよう、検討していきたい。
町 長	教育長は月初めの庁議において、学校の教員の労働状況について説明してくれている。支援員が不足しているということも常々聞いている。まだまだ人員が足りないということで、少しずつでも対応できればと考えている。 また、木内々小学校体育館のラインについては、将来的な改修に合わせてという学務課長の話しであったが、まず先にラインだけでも対応できないか検討していきたい。
教 育 長	今日は総合会議を開いていただき、感謝申し上げます。教育委員会の事業について最後にご説明したい。 まちづくりとは何かと考えたときに、道路整備や何やらあると思うが、根本は町民の交流の場を設けることだと考えている。そういう意味で、社会教育・体育課が行っている様々な教室やフェスティバル、スポーツイベントはまちづくりにおいてとても重要である。 また、学校教育に関しても、将来の町を担う子供たちを育成するものであり、まちづくりにおいてとても重要なことである。

会 議 記 録	
	教育委員会の事業はお金がかかる部分もあるが、ぜひご理解いただき、必要な予算の確保をお願いしたい。
副 町 長	町の各種委員会やボランティア活動においては、学校教育のＯＢの方がご活躍されている。さらに多くの学校関係者の方が現役時代からでもおいらせ町に住んでいただければなと願う。
教 育 長	おいらせ町には、意外と多くの学校関係者が住んでいる。現役の方も多い。ＯＢも各学校の支援員等として活躍いただいている。
事 務 局	他にご意見ないか。 (なし) 修礼 閉会